

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表2010-510419

(P2010-510419A)

(43) 公表日 平成22年4月2日 (2010. 4. 2)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
EO 4 D 13/18 (2006. 01)	E O 4 D 13/18	2 E 1 0 8
HO 1 L 31/042 (2006. 01)	H O 1 L 31/04 R	5 F 0 5 1
		5 F 1 5 1

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 16 頁)

(21) 出願番号 特願2009-538412 (P2009-538412)
 (86) (22) 出願日 平成19年11月21日 (2007. 11. 21)
 (85) 翻訳文提出日 平成21年6月15日 (2009. 6. 15)
 (86) 国際出願番号 PCT/US2007/024328
 (87) 国際公開番号 W02008/063660
 (87) 国際公開日 平成20年5月29日 (2008. 5. 29)
 (31) 優先権主張番号 60/860, 561
 (32) 優先日 平成18年11月21日 (2006. 11. 21)
 (33) 優先権主張国 米国 (US)

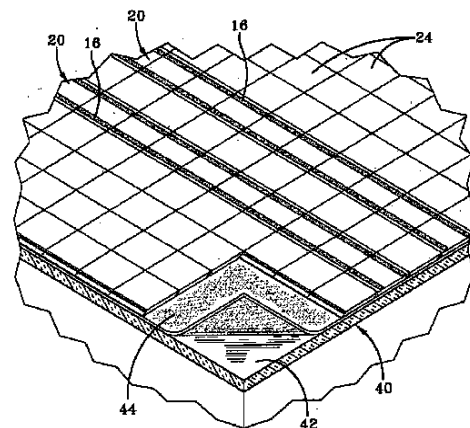
(71) 出願人 509142575
 ファイヤーストーン ビルディング プロ
 ダクツ カンパニー エルエルシー
 アメリカ合衆国 4 6 2 4 0 インディア
 ナ州 インディアナポリス 第96 スト
 リート 3 1 0 イー
 (74) 代理人 100147485
 弁理士 杉村 憲司
 (74) 代理人 100134005
 弁理士 澤田 達也
 (74) 代理人 100160772
 弁理士 大串 賢

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 屋根膜への太陽電池パネルのフック・ループ取り付け

(57) 【要約】

屋根構体上に取り付けるためのエネルギー発生システムを開示する。このエネルギー発生システムは屋根システムの構成要素に固定される1つ以上の太陽電池パネル (10) を含む。これらの太陽電池パネルは屋根システムの構成要素にフック・ループファスナ (16, 78) で固定され、屋根システムの構成要素 (86) と一体化することができる。



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

屋根構体上に設置するためのエネルギー発生システムであって、該装置は、
屋根構体の上に置かれる少なくとも 1 つのペイバと、
前記ペイバに取り付けられた少なくとも 1 つのペイバファスナと、
光を受ける上面と、少なくとも 1 つのデバイスファスナが取り付けられた底面とを有する光起電力デバイスとを備え、

前記少なくとも 1 つのペイバファスナ及び前記少なくとも 1 つのデバイスファスナは、いずれか一方がフック構造であれば他方がループ構造であり、互いに接触して前記光起電力デバイスを前記ペイバに固定するように配置されていることを特徴とするエネルギー発生システム。

10

【請求項 2】

前記少なくとも 1 つのデバイスファスナは前記光起電力デバイスの前記底面に接着剤で取り付けられていることを特徴とする請求項 1 記載のエネルギー発生システム。

【請求項 3】

前記少なくとも 1 つのペイバファスナは前記ペイバに接着剤で取り付けられていることを特徴とする請求項 1 記載のエネルギー発生システム。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 つのペイバファスナ及び前記少なくとも 1 つのデバイスファスナは細長いストリップであることを特徴とする請求項 1 記載のエネルギー発生システム。

20

【請求項 5】

前記ペイバ及び前記光起電力デバイスは複数の薄いストリップ状ファスナを有し、前記薄いストリップ状ファスナが互いに平行に配置されていることを特徴とする請求項 4 記載のエネルギー発生システム。

【請求項 6】

複数のペイバを含み、これらのペイバは互いに連結できるように一側に上舌部及び反対側に下舌部を有する矩形ブロックであることを特徴とする請求項 1 記載のエネルギー発生システム。

【請求項 7】

屋根構体上に設置するためのエネルギー発生システムであって、該装置は、
底面と上面を有し、前記上面にパッドファスナが取り付けられ、前記底面が屋根膜に固定される少なくとも 1 つのパッドと、
光を受ける上面と、少なくとも 1 つのデバイスファスナが取り付けられた底面とを有する光起電力デバイスとを備え、

30

前記少なくとも 1 つのパッドファスナ及び前記少なくとも 1 つのデバイスファスナは、いずれか一方がフック構造であれば他方がループ構造であり、互いに接触して前記光起電力デバイスを前記パッドに固定するように配置されていることを特徴とするエネルギー発生システム。

【請求項 8】

前記少なくとも 1 つのデバイスファスナは前記光起電力デバイスの前記底面に接着剤で取り付けられていることを特徴とする請求項 7 記載のエネルギー発生システム。

40

【請求項 9】

前記少なくとも 1 つのパッドファスナは前記パッドに接着剤で取り付けられていることを特徴とする請求項 7 記載のエネルギー発生システム。

【請求項 10】

前記少なくとも 1 つのパッドファスナ及び前記少なくとも 1 つのデバイスファスナは細長いストリップであることを特徴とする請求項 7 記載のエネルギー発生システム。

【請求項 11】

前記パッド及び前記光起電力デバイスは複数の薄いストリップ状ファスナを有し、前記薄いストリップ状ファスナが互いに平行に配置されていることを特徴とする請求項 10 記

50

載のエネルギー発生システム。

【請求項 1 2】

前記パッドは柔軟性シートであることを特徴とする請求項 7 記載のエネルギー発生システム。

【請求項 1 3】

前記パッドの前記底面は滑らかであることを特徴とする請求項 7 記載のエネルギー発生システム。

【請求項 1 4】

前記パッドの上面は織り目加工されていることを特徴とする請求項 7 記載のエネルギー発生システム。

10

【請求項 1 5】

前記底面は前記屋根膜に接着テープで接着されることを特徴とする請求項 7 記載のエネルギー発生システム。

【請求項 1 6】

複数のパッドを含み、これらのパッドは 1 つの連続行に当接配置されることを特徴とする請求項 7 記載のエネルギー発生システム。

【請求項 1 7】

前記パッドは前記屋根構体のほぼ全体を覆うことを特徴とする請求項 1 6 記載のエネルギー発生システム。

20

【請求項 1 8】

屋根構体上に設置するためのエネルギー発生システムであって、該装置は、
光を受けるように構成された上面と周辺エッジを有する光起電力デバイスと、
前記光起電力の周辺エッジの少なくとも一部分の周囲に取り付けるように構成され、前記光起電力デバイスの底面と重複する部分を有するフレームと、
前記フレームの重複部分に取り付けられた少なくとも 1 つのデバイスファスナと、
前記屋根に取り付けられ、前記少なくとも 1 つのデバイスファスナと結合するように構成された少なくとも 1 つの屋根ファスナとを備え、
前記少なくとも 1 つの屋根ファスナ及び前記少なくとも 1 つのデバイスファスナは、いずれか一方がフック構造であれば他方がループ構造であり、互いに接触して前記光起電力デバイスを前記屋根に固定するように配置されていることを特徴とするエネルギー発生システム。

30

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、2006 年 11 月 21 日に米国仮出願第 60 / 860 , 561 号を優先権主張するものであり、この出願は参照することにより本書に援用される。

【0002】

本発明の一つ以上の実施の形態は光起電力デバイスを建物の屋根に固定するフック - ループファスナを含むルーフィングシステムに関する。

【背景技術】

40

【0003】

太陽電池と呼ばれることもある光起電力デバイスは、建物構造の屋根に付加することができる。太陽電池は太陽からの光エネルギーを電気エネルギーに変換し、この電気エネルギーはすぐに使用してもよいし、後の使用のために蓄積してもよい。多くの工業用建物は、太陽電池の設置に望ましい大きく、高く、平坦な屋根を持っている。

【0004】

光起電力システムの設置は、典型的にはデバイスを屋根にボルトやねじなどの機械的固定手段で結合する必要がある。これはデバイスを固定するための有効な手段であるが、屋根が所要の機械的固定手段又は設置中の穴あけにより永久的に損傷もしくは変更されてしまうことになる。これらの穴は雨漏りの原因になり、また引き裂きや亀裂などの他の障害

50

の原因になり得る。更に、ねじやボルトなどの機械的固定手段の使用は時間を要し、精密な計測及び固定穴の穴あけを必要とする。また、機械的固定手段は比較的に永久的であり、損傷した屋根部分を残さずに光起電力デバイスを容易に移動もしくは除去することはできない。

【 0 0 0 5 】

太陽電池を屋根表面に取り付ける他の手段が提案されている。例えば、化学的接着剤又はフック・ループファスナを使用することができる。フック・ループファスナは、フック・ループファスナを屋根膜に直接貼り付けることによって、太陽電池パネルを屋根デッキに固定するために使用されている。この方法は屋根膜の完全性を必ずしも悪化させないが、依然として設置に時間がかかり、屋根システムに適切に組み込むことができず、設置中に複数の工程を必要とする。したがって、これらの手段は設置に費用がかかり、障害を受け易い。

10

【 0 0 0 6 】

したがって、防水特性を悪化させることがなく屋根システムに組み込むことができる、光起電力デバイスを屋根に取り付ける手段が必要とされている。

【 先行技術文献 】

【 特許文献 】

【 0 0 0 7 】

【 特許文献 1 】 米国特許第 3 , 2 8 8 , 1 3 6 号明細書

【 特許文献 2 】 米国特許第 3 , 4 0 3 , 4 2 9 号明細書

20

【 発明の概要 】

【 0 0 0 8 】

本発明の一つ以上の実施の形態は、屋根構体上に設置するためのエネルギー発生システムを提供し、該システムは、屋根構体の上に置かれる少なくとも一つのペイバと、前記ペイバに取り付けられたペイバファスナと、光を受ける上面とパネルファスナが取り付けられた底面とを有する太陽電池パネルとを備え、前記少なくとも一つのペイバファスナ及び前記少なくとも一つのデバイスファスナは、いずれか一方がフック構造であれば他方がループ構造であり、互いに接触して前記光起電力デバイスを前記ペイバに固定するように配置されていることを特徴とする。

30

【 0 0 0 9 】

本発明の一つ以上の実施の形態は、屋根構体に設置するためのエネルギー発生システムを提供し、該システムは、底面と上面を有し、前記上面に取り付けられたパッドファスナを有し、前記底面が屋根膜に接着されるパッドと、光を受ける上面とパネルファスナが取り付けられた底面とを有する太陽電池パネルとを備え、前記少なくとも一つのパッドファスナ及び前記少なくとも一つのデバイスファスナは、いずれか一方がフック構造であれば他方がループ構造であり、互いに接触して前記光起電力デバイスを前記パッドに固定するように配置されていることを特徴とする。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 1 0 】

【 図 1 】 本発明の方法に従って作られた太陽電池パネルの一例の等角投影図である。

40

【 図 2 】 図 1 の太陽電池パネルの側面図である。

【 図 3 】 本発明の方法に従って作られた太陽電池パネルの代替例の等角投影図である。

【 図 4 】 図 3 の太陽電池パネルの代替例の側面図である。

【 図 5 】 本発明によるペイバの等角投影図である。

【 図 6 】 図 5 のペイバの側面図である。

【 図 7 】 本発明による屋根システムの等角投影図である。

【 図 8 】 太陽電池パネルが設置された屋根システムの等角投影図である。

【 図 9 】 本発明による太陽電池パネルの設置方法を例示するフローチャートである。

【 図 1 0 】 本発明によるパッドの等角投影図である。

【 図 1 1 】 別の屋根システムの断面図である。

50

【図 1 2】図 1 1 の屋根システムの上面図である。

【図 1 3】本発明による太陽電池パネルの設置方法を例示するフローチャートである。

【発明を実施するための形態】

【0011】

図面はいくつかの屋根システム及び対応するフック・ループ固定手段を示す。本発明の光起電力デバイス（以後「太陽電池パネル」という）は、電氣的に接続され且つモジュールとしてカプセル封止された複数の太陽電池セルを含む。本発明の実施は必ずしもセルのタイプやパネルの設計により限定されない。既知のように、太陽電池セルは半導体ウェハとすることができる。太陽電池パネルは、外表面（太陽にさらされる表面）側のガラス又は透明プラスチックパネルと反対表面（屋根表面に面する）側の樹脂障壁との間に配置された複数の半導体ウェハを含むものとし得る。この構成は、セルを雨や霰やその他の環境危険物から保護しながら光をセルに透過することができる。太陽電池パネルは追加の電圧を発生させるために直列に接続することもできる。簡単のために、太陽電池パネルを相互接続する複数のワイヤ及びケーブルは添付図面には示されていない。

【0012】

図 1 及び 2 について説明すると、変更された太陽電池パネル 10 が示されている。変更された太陽電池パネル 10 は底面 12 と上面 14 を有する。上面 14 は、光を受け、光を光起電力セルに透過するように構成されている。底面 12 は屋根表面に対面するように構成され、フック・ループ型ファスナのパネルファスナ 16 を含む。本例はほぼ正方形の太陽電池パネルを示すが、他の形状のものを使用することもできる。本例では、パネルファスナ 16 は太陽電池パネル 10 に直接固着される。しかし、太陽電池パネル 10 は支持フレーム又は同種のものを含むものとし、これにパネルファスナ 16 を固着することも認識されたい。

【0013】

パネルファスナ 16 は突出する複数のフックを有する支持体（例えば薄いシート）の形態のフック型素材とすることができる。逆に、パネルファスナ 16 は突出する複数のループを有する支持体（例えば薄いシート）の形態のループ型素材とすることもできる。既知のように、フック型素材がループ型素材と接触すると、取り外し可能な機械的結合が形成される。模範的なフック・ループファスナは特許文献 1 及び特許文献 2 に見られ、これらの文献は参照することにより本書に援用される。明瞭のために、ファスナなる語を本書を通して使用するが、これについては、対向する相手のファスナが反対型である限り、フック型ファスナ又はループ型ファスナの何れかを使用できることを認識されたい。

【0014】

パネルファスナ 16 は太陽電池パネル 10 の底面 12 に接着剤などで固着することができる。任意の配置を使用できる。例えば、図 1 及び 2 に示すように、パネルファスナ 16 は 1 対の間隔を置いて配置されたストリップの形にすることができる。他の例では、3 つ又はそれより多数の間隔を置いて配置されたストリップを用いることもできる。更に他の例では、パネルファスナ 16 は底面 12 の上に格子状又は交差パターンに配置することもできる。更に他の例では、パネルファスナ 16 は底面 12 のほぼ全面に設けることもできる。このように、太陽電池パネル 10 は光を電気に光を変換するために受光する上面 14 とパネルファスナ 16 を含む底面 12 を有する。

【0015】

図 3 及び図 4 を参照すると、変更された太陽電池パネル 10' の代替例が示されている。変更された太陽電池パネル 10' は底面 12' と上面 14' を有する。上面 14' は、光を受け、光を光起電力セルに透過するように構成されている。底面 12' は屋根表面に対面するように構成される。パネル 10' の周辺エッジの周囲にフレーム 15 が設けられる。フレーム 15 はパネル 10' の補強及び保護のために設けることができる。フック・ループ型ファスナの 1 つ以上のパネルファスナ 16' をフレーム 15 の底面に固着することができる。本例では、フレーム 15 の 4 つの脚のすべてがそれらの上にパネルファスナ 16' を有する。他の例では、もっと少数の脚にパネルファスナ 16' を設けることがで

きる。例えば、対向する１対の脚にパネルファスナ１６'を設けることができる。本例はパネル１０'はほぼ正方形であるが、三角形又は他の任意の形状にすることもできる。以上の記載においてパネル１０が参照されるが、パネル１０'はパネル１０の等価な代替パネルとし得ることが認識されよう。

【００１６】

図５及び図６を参照すると、本発明に従って製造された模範的なバラストペイバの全体が２０で示されている。複数のバラストペイバを膜ルーフィングシステムとともに使用することにより、主として強風状態中に膜が持ち上がるのを防ぐとともに、２つ以上の隣接する膜シートが互いにつき合わされたとき形成される継ぎ目を完全に維持することができる。更に、ペイバ２０は下側の膜を刺し傷やその他の損傷から保護する。ペイバ２０はコンクリートやセメントなどで構成することができる。ペイバ２０は一般に上面２４及び対向底面２６を含む本体２２を有する薄型の矩形ブロックと記述できる。本体２２の一側から突出する上舌部２８を設けることができる。本体２２の反対側から突出する下舌部３０を設けることができる。上舌部２８と下舌部３０は、ペイバ２０を当接関係で配置するとき互いに重なるように構成することができる。この重複又は相互連結構成は強風状態におけるペイバの持ち上がりの防止に役立つ。しかし、種々のペイバ構成が使用可能であることを認識されたい。例えば、ペイバ２０は任意の形状にでき、重複機能部を含んでもよく含まなくてもよい。

【００１７】

ペイバファスナ３２をペイバ２０の上面２４の上に設けることができ、接着剤などで固着することができる。ペイバファスナ３２は突出する複数のフックを有する薄いシートの形態のフック型素材とすることができる。逆に、ペイバファスナ３２は突出する複数のループを有する薄いシートの形態のループ型素材とすることができる。上述したように、対向する相手のファスナが反対型であるかぎり、フック型ファスナ又はループ型ファスナの何れかを使用することができる。従って、パネルファスナ１６がループ型ファスナである場合には、相手のペイバファスナ３２はフック型ファスナであり、逆の場合も同じである。

【００１８】

ペイバファスナ３２はペイバ２０の上に様々な配列で位置させることができる。例えば、この例で示すように、ペイバファスナ３２は間隔を置いて配置された１対の平行なトリップの形にすることができる。他の例では、間隔を置いて配置された３つ以上のストリップを使用することができる。更に他の例では、ペイバファスナ３２は上面２４の上に格子状又は交差パターンに配置することができる。更に他の例では、ペイバファスナ３２は上面２４のほぼ全面に設けることができる。

【００１９】

図７を参照すると、ルーフィングシステム４０とともに使用されているペイバ２０が示されている。ルーフィングシステム４０は膜４４で覆われた屋根構体４２を含むが、ペイバ２０はアスファルトベース又は他のビルトアップルーフシステムとともに使用できることを認識されたい。所定の例では、熱貫流を防止するために断熱ボード（図示せず）を屋根構体４２と膜４４との間に設けることができる。膜４４はシートの形にすることができ、例えばアスファルト(bitumen)材料、EPDM、TPOなどからなるものとすることができる。シートは互いにつなが合わせることができ、膜４４を屋根構体４２に取り付ける他の構造的特徴を含むことができる。ペイバ２０は膜４４の上に当接(隣接)配置することができ、一般に格子状に配置される。ペイバ２０は膜４４のほぼ全面に配置することができる。更に、上舌部２８を下舌部３０と重ね合わせて隣接するペイバ２０を連結することができる。

【００２０】

必ずしも屋根表面の全面に太陽電池パネル１０を設ける必要があるわけではないので、ペイバファスナ３２はすべてのペイバ２０に設ける必要はないことが理解されよう。例えば、図７に示す例では、ペイバファスナ３２を含むペイバ２０の１対の連続行が示されて

いる。これらのペイバ 20 の連続行は露出したペイバファスナ 32 の連続したラインを全体的に形成する。他の配置を使用することもできることが認識されよう。一例では、ペイバファスナ 32 を有するペイバ 20 の 3 つ以上の行を設けることができる。他の例では、ペイバファスナ 32 を有するペイバ 20 は方形パターン又は格子パターンにすることができる。更に他の例では、ペイバファスナ 32 を有するペイバ 20 で全屋根表面を完全に覆うことができる。いずれにせよ、ペイバファスナ 32 は屋根の上面に配置され、その後その上に太陽電池パネル 10 を受けることができる。

【0021】

図 8 を参照すると、太陽電池パネル 10 は、太陽電池パネル 10 のパネルファスナ 16 をペイバ 20 のペイバファスナ 32 と接触させることによってペイバ 20 に固着される。その後、太陽電池パネル 10 はペイバ 20 に、従って屋根システム 40 に機械的に、しかも取り外し可能に結合されたままになる。この機械的結合は太陽電池パネルを強風や他の外力に対して保持するが、取替えや移動が必要なときに技術者が太陽電池パネル 10 を取り外すことができる程度に十分に弱いものである。明らかなように、太陽電池パネル 10 は連続する行に配置することができる。他の例では、太陽電池パネル 10 は屋根表面上に方形パターン又は格子パターンに配置することができる。更に他の例では、太陽電池パネル 10 は屋根表面の一部分又はほぼ全面を完全に覆うことができる。太陽電池 10 は複数のケーブル（図示せず）で相互接続することができる。これらのケーブルは分離可能な接続にしてもよいし、しなくてもよい。これらのケーブルは接続箱又は他の受電局まで延長し、そこで電流を調整し、電池システムに使用可能にし、蓄積することができる。

【0022】

図 9 を参照すると、上述したペイバ / 太陽電池パネル配列の模範的な設置方法が示されている。第 1 の工程 50 において、膜 44 を屋根構体 42 の上に設置する。上述したように、屋根構体 42 と膜 44 との間に断熱層を随意に設けることができる。膜 44 は屋根構体 42 に機械的留め具、接着剤又は任意の他の既知の方法で固着することができる。一例では、屋根構体 42 と膜 44 との間に接着剤を設けしないで、膜をペイバの重みで押さえつけることができる。

【0023】

第 2 の工程 52 において、ペイバ 20 を屋根表面に移動させ、その上に配置する。上述したように、太陽電池パネル 10 に使用される区域に設置されないペイバ 20 はペイバファスナ 32 を持たないものとすることができる。ペイバ 20 は、当接関係で配列する際に上舌部 28 が下舌部 30 に重なるように配置することができる。更に、ペイバファスナ 32 を持つペイバは連続的に当接関係で配置してほぼ連続するペイバファスナ 32 の行又はパターンを形成することができる。

【0024】

一例では、ペイバファスナ 32 は、屋根に運ぶ前に、ペイバ 20 上に予め設置される。この例又は他の例では、ペイバファスナ 32 はペイバ 20 の製造プロセス中にペイバ 20 に取り付けることができる。製造プロセス中にペイバファスナ 32 をペイバ 20 に取り付けることによって、設置中に時間を節約することができる。更に、工場の比較的清浄な環境のために、特に接着剤を使用する場合に、一層永久的な取り付けが可能になる。

【0025】

他の例では、ペイバファスナ 32 は、ペイバの製造後に、第 2 の工程においてペイバ 20 に取り付けることができる。この例又は他の例では、ペイバファスナは、ペイバ 20 を屋根に運ぶ前に、現場で取り付けることができる。他の例では、ペイバファスナ 32 は、ペイバ 20 を屋根表面に設置し配置した後にペイバ 20 に取り付けることができる。

【0026】

第 3 の工程 54 において、太陽電池パネル 10 をペイバ 20 の上に設置する。この設置は、太陽電池パネル 10 のパネルファスナ 16 をペイバ 20 のペイバファスナ 32 と結合させることによって達成される。このようにして、太陽電池パネル 10 はフック - ループファスナの機械的結合によって屋根に取り付けられる。

【 0 0 2 7 】

最後に、第 4 の工程 5 6 において、太陽電池パネル 1 0 を接続箱又は同種のものに相互接続し、これで電流を受け取り、その電流を中間使用に向けるか、後の使用のために電池機構に送ることができる。

【 0 0 2 8 】

このように、太陽電池パネル 1 0 は屋根表面に素早く容易に設置することができる。太陽電池パネル 1 0 をペイバ 2 0 に固定することによって、永久結合手段を屋根膜に直接取り付ける必要がなくなるので、膜 4 4 は損傷されない。更に、フック・ループファスナの取り外し可能性のために、取り替えや修理が一層簡単になる。更にまた、特にペイバ 2 0 を屋根表面に設置する前にペイバファスナ 3 2 をペイバ 2 0 に固定するとき、時間の節約が得られる。

10

【 0 0 2 9 】

図 1 0 - 図 1 3 を参照すると、別の太陽電池パネル取り付け装置が示されている。図 1 0 に示されるように、本発明に従って作られた模範的なルーフパッドの全体が 6 0 で示されている。パッド 6 0 は一般に柔軟性のシート状にすることができ、ポリマ及び / 又はゴム材料からなるものとすることができ、パッド 6 0 は上面 6 2 及び下面 6 4 を有する。下面 6 4 は比較的滑らかにすることができ、上面 6 2 は静止摩擦を改善するために織り目加工することができ、接着テープ 6 6 を、パッド 6 0 の対向エッジ 6 8 及び 7 0 と中心に一連のストリップとして、下面 6 4 に直接接着することができ、接着テープ 6 6 は上面 7 2 及び下面 7 4 を有し、上面 7 2 はパッドの下面 6 4 に貼り付けられる。

20

【 0 0 3 0 】

一例では、テープ 6 6 の貼り付けは工場で製造処理の一部として行うことができる。この段階においては、パッド 6 0 は比較的清浄であるため、別個の清浄及び / 又は下塗り処理が必要とされない。また、屋外即ち屋根の上では、パッド 6 0 が汚されたり汚染されたりするので、パッド 6 0 へのテープ 6 6 の接着が妨害されるが、これとは対照的に、貼り付けが制御された清浄な状態で行われるために、テープ 6 6 とパッド 6 0 との間の接着性を最大にすることができ、剥離紙 7 6 をテープ 6 6 の下面 7 4 上に設けることができる。剥離紙 7 6 は屋根に設置する前に表面 7 4 が塵埃にさらされるのを防ぐ。現場（即ち屋根の上）で設置者に要求されることは剥離紙 7 6 を剥がし、粘着パッドを屋根の上に置き、圧力を加えるだけであり、この加圧は単にパッドの上を歩くことにより又はローラを使って行うことができる。

30

【 0 0 3 1 】

他の例では、テープ 6 6 の貼り付けは現場で行うことができる。現場で行う場合には、貼り付け前にパッド 6 0 の清浄化及び / 又は下塗りを行って、汚れや汚染がテープ 6 6 とパッド 6 0 との間の接合の品質に影響を与えないようにすることができ、現場でのテープ 6 6 の貼り付け後は、設置者はパッド 6 0 を屋根の上に置き、パッドの上を歩くかローラを使って圧力を加えるだけでよい。

【 0 0 3 2 】

パッド 6 0 には、その上面 6 2 上に少なくとも 1 つのパッドファスナ 7 8 を設け、このファスナは接着剤などで固着することができ、パッドファスナ 7 8 は突出する複数のフックを有する薄いシートの形態のフック型素材とすることができ、逆に、パッドファスナ 7 8 は突出する複数のループを有する薄いシートの形態のループ型素材とすることができ、上述したように、対向する相手のファスナが反対型であるかぎり、フック型ファスナ又はループ型ファスナの何れかを使用することができ、従って、パネルファスナ 1 6 がループ型ファスナである場合には、相手のパッドファスナ 7 8 はフック型ファスナであり、逆の場合も同じである。

40

【 0 0 3 3 】

パッドファスナ 7 8 はパッド 6 0 の上に様々な配置で置くことができる。例えば、本例で示すように、パッドファスナ 7 8 は間隔を置いて配置された 4 つの平行ストリップの形にすることができ、他の例では、もっと少数もしくは多数の間隔を置いて配置されたス

50

トリップを用いることもできる。更に他の例では、パッドファスナ 78 は上面 62 上に、格子状又は交差パターンに配置することもできる。更に他の例では、パッドファスナ 78 は表面 62 のほぼ全面を覆うこともできる。

【0034】

図 11 及び図 12 を参照すると、ルーフィングシステム 80 とともに使用されているパッド 60 が示されている。ルーフィングシステム 80 は断熱層 84 で覆われた屋根構体 82 を含むことができる。膜 86 が断熱層 84 の上に置かれ、固着される。膜 86 は細長いシートの形にすることができ、例えばアスファルト材料、EPDM、TPO などからなるものとする。シートは互いにつなが合わせることができ、膜 86 を屋根構体 82 に取り付けるために必要な他の構造的特徴を含むことができる。パッド 86 は膜 84 10 の上に任意の所望の配列又はパターンに配置することができる。図 12 に示されるように、接着剤 66 が膜 86 に結合してパッド 60 を所定の位置に保持する。一例では、パッド 60 は隣接する連続行に配置することができる。他の例では、パッド 60 は格子状配列に配置することができる。更に他の例では、パッド 60 は屋根表面のほぼ全面を覆うように配置することができる。

【0035】

太陽電池パネル 10 は、太陽電池パネル 10 のパネルファスナ 16 をパッド 60 のパッドファスナ 78 と接触させることによってパッド 60 に固着される。その後は、太陽電池パネル 10 はパッド 60、従って屋根システム 80 に機械的に結合されたままになる。この機械的結合は太陽電池パネルを強風や他の外力に対して保持するが、取替えや移動が必要 20 となるときに技術者が太陽電池パネル 10 を取り外すことができる程度に十分に弱いものである。明らかなように、太陽電池パネル 10 は連続する行に配置することができる。他の例では、太陽電池パネル 10 は屋根表面上に方形パターン又は格子パターンに配置することができる。更に他の例では、太陽電池パネル 10 は屋根表面の一部分又はほぼ全面を完全に覆うことができる。太陽電池 10 は複数のケーブル（図示せず）で相互接続することができる。これらのケーブルは分離可能な接続にしてもよいし、しなくてもよい。これらのケーブルは接続箱又は他の受電局まで延長し、そこで電流を調整し、電池システムに使用可能にし、蓄積することができる。

【0036】

図 13 を参照すると、上述したパッド / 太陽電池パネル配列の模範的な設置方法が示されている。第 1 の工程 90 において、予め接着剤が付与されたパッド 60 を屋根に運び、ここで剥離紙 76 を除去する。次にパッド 60 を膜の上に置く。その後、パッドの上を歩くことによって又はローラなどを用いて圧力を加える。1 つ以上のパッド 60 を所望の太陽電池パネル配列に従って配置する。 30

【0037】

第 2 の工程 92 において、太陽電池パネル 10 をパッド 60 の上に設置する。設置は、太陽電池パネル 10 のパネルファスナ 16 をパッド 60 のパッドファスナ 78 と接触させることによって達成される。このようにして、太陽電池パネル 10 はフック - ループファスナの機械的結合によって屋根に固定される。 40

【0038】

最後に、第 3 の工程 94 において、太陽電池パネル 10 を接続箱又は同種のものに相互接続し、これで電流を受け取り、その電流を中間使用に向けるか、後の使用のために電池機構に送ることができる。

【0039】

上述した例は、太陽電池パネル 10 を屋根表面に素早く容易に設置することができるため、有利である。パッド 60 は屋根表面上に任意に容易に配置することができる。更に、太陽電池パネル 10 は、フック - ループファスナ構成の取り外し可能性のために容易に取り外すことができ、また取り替えることができる。更に、太陽電池パネルはピーク昼光時間中に熱くなり、この熱により下側の屋根膜や他の構造を損傷され得るが、太陽電池パネルと屋根膜との間に設けられるパッド又はペイバは下側の屋根膜を熱損傷から保護する。 50

更にまた、本発明のフック・ループファスナは長期に亘り高い付着強度特性を示す。従って、これらの高い剥離強度のファスナは、屋根に直接取り付けられた場合、パネルの除去に大きな力を必要とするために、パネルの除去中に屋根を損傷する可能性がある。本発明のパッド又はペイバはパネルの除去又は取替え中におけるこのような損傷を防止する。最後に、屋根膜は屋根表面上の人の歩行やその他の活動により損傷されやすい。ファスナを、永久的な屋根システムと別の、パッド又はペイバに設けることによって、便利な結合が達成されるのみならず、設置中及び点検中の屋根の保護が達成され、屋根の寿命が長くなる。

【 0 0 4 0 】

本発明の範囲及び精神から離れることなく種々の変更例及び変形例が当業者に明らかになり、本発明はここに説明した具体例に限定されるものではない。

10

【 図 1 】

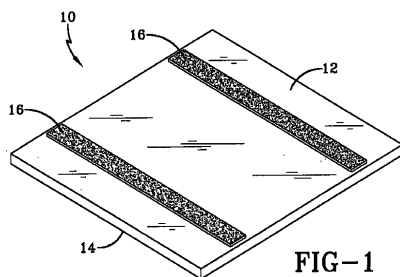


FIG-1

【 図 2 】

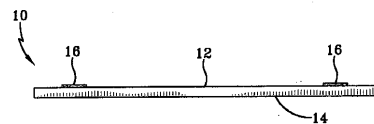


FIG-2

【 図 3 】

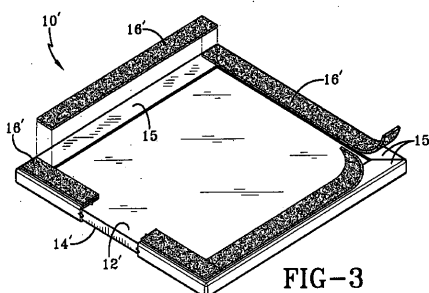


FIG-3

【 図 4 】

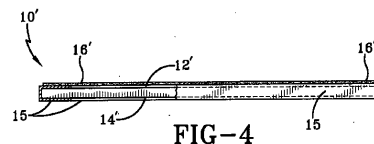


FIG-4

【 図 5 】

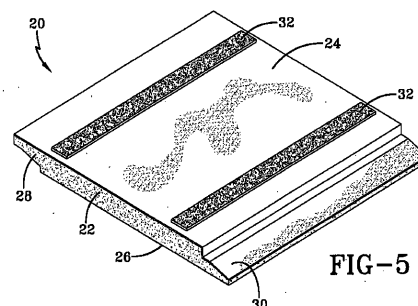


FIG-5

【 図 6 】

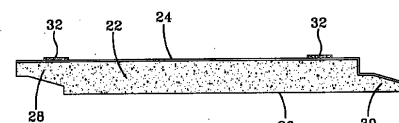


FIG-6

【図 7】

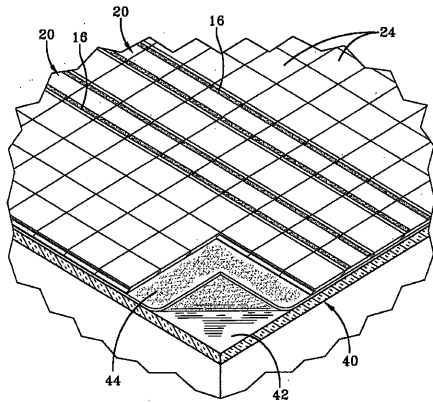


FIG-7

【図 8】

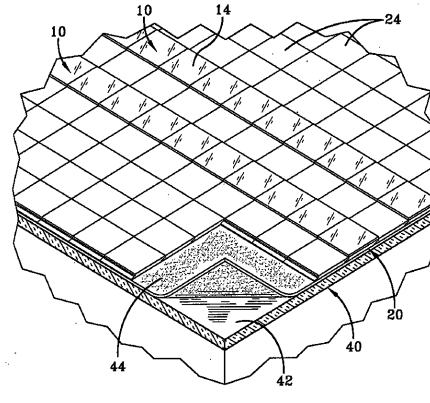


FIG-8

【図 9】

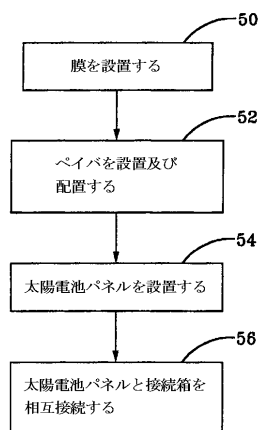


FIG-9

【図 10】

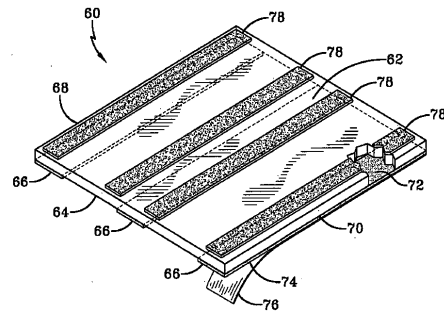


FIG-10

【図 11】

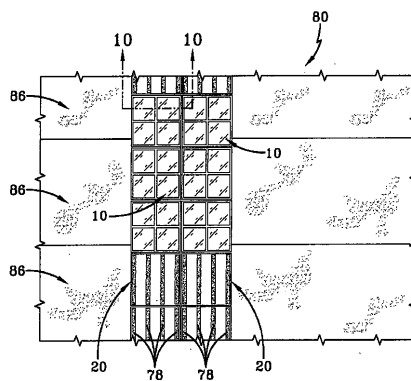


FIG-11

【図 1 2】

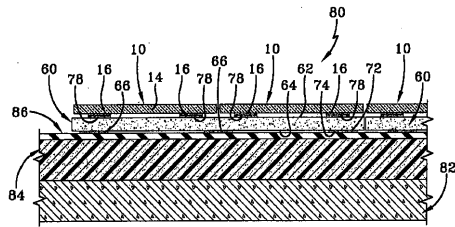


FIG-12

【図 1 3】

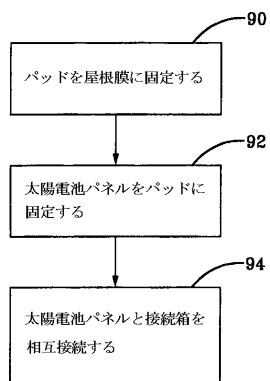


FIG-13

【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No
PCT/US2007/024328

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER INV. H01L31/042 H01L31/048 ADD. F24J2/52 E04D1/34		
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) H01L		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practical, search terms used) EPO-Internal		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	US 5 316 592 A (DINWOODIE THOMAS L [US]) 31 May 1994 (1994-05-31) the whole document	1-17
Y	DE 103 29 184 A1 (SESOL GES FUER SOLARE SYSTEME [DE]) 20 January 2005 (2005-01-20) the whole document	1-18
Y	US 5 990 414 A (POSNANSKY MARIO [CH]) 23 November 1999 (1999-11-23) abstract; figures 1,5-9	18
Y	WO 98/36139 A (MINNESOTA MINING & MFG [US]; GRAHAM JOSEPH [US]; KENNEDY KEITH [US]; M) 20 August 1998 (1998-08-20) abstract; figures 1,4,6-8	18
-/-		
<input checked="" type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input checked="" type="checkbox"/> See patent family annex.		
* Special categories of cited documents : *A* document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance *E* earlier document but published on or after the international filing date *L* document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) *O* document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means *P* document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed *T* later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention *X* document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone *Y* document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art. *Z* document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search		Date of mailing of the international search report
20 May 2008		28/05/2008
Name and mailing address of the ISA/ European Patent Office, P.B. 5818 Patentlaan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Tx. 31 651 epo nl, Fax: (+31-70) 340-3016		Authorized officer Heising, Stephan

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No

PCT/US2007/024328

C(Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	EP 0 990 746 A (FAUNER GERHARD [DE]; WENDKER HASSO [DE]) 5 April 2000 (2000-04-05)	1-6
Y	abstract; figures 1-4 paragraphs [0048], [0049] paragraphs [0066], [0069]	7-18
A	US 6 061 978 A (DINWOODIE THOMAS L [US] ET AL) 16 May 2000 (2000-05-16) abstract; figure 3 columns 5-6	1-18
E	GB 2 438 526 A (SOLAR CENTURY HOLDINGS LTD [GB]) 28 November 2007 (2007-11-28) abstract; figure 9 page 10	7-12
A	US 4 886 554 A (WOODRING WILLIAM J [US] ET AL) 12 December 1989 (1989-12-12) the whole document	1-6
A	FR 2 813 927 A (SOLVAY [BE]) 15 March 2002 (2002-03-15)	6
A	JP 2004 036098 A (EBARA CORP) 5 February 2004 (2004-02-05) abstract; figures 2,3	7-17

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No

PCT/US2007/024328

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
US 5316592	A	31-05-1994	NONE
DE 10329184	A1	20-01-2005	NONE
US 5990414	A	23-11-1999	AU 720253 B2 25-05-2000 AU 7488896 A 17-04-1998 BR 9611753 A 28-03-2000 CA 2238747 A1 02-04-1998 WO 9813883 A1 02-04-1998 CN 1207830 A 10-02-1999 CZ 9801597 A3 16-12-1998 DE 29619119 U1 22-01-1998 EP 0867040 A1 30-09-1998 HU 9901088 A2 30-08-1999 JP 2000501469 T 08-02-2000 TR 9800909 T1 23-11-1998
WO 9836139	A	20-08-1998	AU 6279898 A 08-09-1998 CA 2283857 A1 20-08-1998 EP 1009893 A1 21-06-2000
EP 0990746	A	05-04-2000	AT 219811 T 15-07-2002 DE 29817398 U1 11-02-1999 PT 990746 T 31-10-2002
US 6061978	A	16-05-2000	NONE
GB 2438526	A	28-11-2007	WO 2007138316 A1 06-12-2007
US 4886554	A	12-12-1989	AU 625519 B2 16-07-1992 AU 4201689 A 18-04-1990 CA 1325146 C 14-12-1993 DE 68924711 D1 07-12-1995 DE 68924711 T2 30-05-1996 EP 0436572 A1 17-07-1991 JP 2790350 B2 27-08-1998 JP 4500990 T 20-02-1992 WO 9003663 A1 05-04-1990
FR 2813927	A	15-03-2002	AU 9554901 A 22-03-2002 WO 0220915 A1 14-03-2002 EP 1319106 A1 18-06-2003
JP 2004036098	A	05-02-2004	NONE

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), EP(AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MT, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RS, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, SV, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW

(72)発明者 ジョン ゲーリー

アメリカ合衆国 4 6 0 3 2 インディアナ州 カーメル サットン プレイス ドライブ 2 4
7 8

Fターム(参考) 2E108 AA01 AZ01 KK01 LL01 MM09 NN07

5F051 BA03 BA14 JA09

5F151 BA03 BA14 JA13